

大阪市立本田小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は素直で、概ね良好な人間関係を築けている。これまで全校児童に「仲直りできないケンカはしない。ケンカをした時は必ず仲直りをする」ということを意識づけ、人間関係調整力を学年に応じて指導してきた。校内調査の「友だちに助けてもらい励ましてもらった」「仲間とともに活動することは楽しい」について、9割以上の児童が肯定的な回答をしていることからも、人間関係調整力を身に付けてきたことがわかる。異学年の関わりも大切にしており、高学年児童が低学年児童にやさしく寄り添う姿も多く見られる。

学校のきまりについては、互いに安全に安心して生活していくために必要なものであることを理解し、きまりを守って生活しようと思う児童が大半を占めている。新型コロナウイルス感染症予防のため活動を制約されたり、児童数が激増し校舎の改修工事等が進んでいたりする中で、児童が安全に生活するためには、環境整備はもちろん児童一人ひとりが安全に生活を送るために課題意識をもち、自分にできることを考え行動できる力を育てることが重要である。

学習においては、与えられた課題に対して真面目に取り組むことができる。本校は令和 2 年度の GIGA スクール構想による 1 人 1 台学習者用端末の整備まで、大阪市 ICT 活用拠点校として、ICT を活用した授業公開や研修等を実施し、ICT 活用の中核的な役割を担ってきた。そのため教職員も児童も ICT に対して抵抗が少なく、課題解決のためにインターネットを活用して調べたり、調べた内容をプレゼンテーションソフトでまとめたりする力も育ってきている。本校児童の持ち前の真面目に取り組む姿勢と ICT 活用能力をベースに、これから先の社会や科学技術の変化に対応できる児童を育成するために、資質・能力を育むための学習活動（教育活動）を開拓していく必要がある。

体力・運動能力に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で、外で遊ぶ機会が減ったこともあり、小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合が 50% と非常に低くなっている。運動をする機会を確保すること、また、運動を楽しいと感じる子どもが増える体育科の授業づくりをしていくことが今後の課題としてあげられる。

健康的な生活をするために必要な「朝食をとる」「同じ時刻に寝る」「同じ時刻に起きる」については、家庭の協力もあり、概ね良好な結果を保っている。保健教育、食育、家庭への啓蒙の 3 つの側面からアプローチを続けていく。

一部ではあるが、生活状況が深刻化し様々な課題を呈する家庭も年々増えている。近年のグローバル化した社会での保護者の勤労状況は多様化し、それぞれの家庭の経済格差や教育力の格差、文化親和度の格差の広がりを生み出している。また、グローバリズムは、さまざまな国から転校してくる児童の増加という現象を生み出し、日本語教育のニーズも高まっている。公教育の基礎になる小学校であるからこそ、わたし達教職員はこれらの格差を乗り越え、等しく教育を受ける機会が与えられ、社会に積極的に参加するチャンスを一人一人の子どもに提供しようという決意をもって、学校教育に携わっている。

このような子どもの実態や社会情勢、第 3 期大阪市教育振興基本計画の 3 つの最重要目標を踏まえ、本校教育は「一人の人間としてよりよく、より幸せに生きるという well-being」を柱としている。そのため大阪市教育振興基本計画の 3 つの最重要目標「安全・安心な教育の推進」「未

来を切り拓く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」に全校あげて取り組むわけであるが、このことを子どもにも理解しやすいよう「健康でなかよくする子、よく学ぶ子」という学校教育目標を設定している。

さて、「一人の人間としてよりよく、より幸せに生きるという well-being」を柱とする本校教育の課題は大きく 2 つである。一つは**自他の命を守る力の育成**。もう一つは**社会や科学技術の変化に対応できる児童の育成**である。前者については、児童一人ひとりが安全に生活を送るために課題意識をもち、自分にできることを考え行動できる力を育てていきたい。自他を大切にするための具体的な取り組みについては、中期目標、年度目標で設定し、毎年見直しを図っていく。後者については、すべての学習の基盤となる資質・能力を育成するための授業実践や教員の研鑽に努めるとともに、芸術・スポーツ・文化・伝統など本物に触れて学ぶ機会を設定し、児童の身体的文化資本を育てていきたい。

中期目標 (★は全市共通目標)

【安全・安心な教育の推進】

★小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。

【R3 86.3%】

★年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【R3 0.70】

★年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

☆令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和 3 年度より 5 %上昇させる。

【R3 75.8%】

☆令和 7 年度の校内調査の「友だち一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。

☆令和 7 年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

★小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。

【R3 33.3%】

★小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。

【R3 現4年生 国語 0.85 算数 0.88 現5年生 国語 0.98 算数 1.11

現6年生 国語 0.96 算数 1.08】

★小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

【R3 64.3%】

★小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 60%以上にする。

【R3 50.0%】

☆令和7年度末の校内調査の「体験や見学、鑑賞などを通じて、芸術・スポーツ・文化・伝統などを学ぶことができましたか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。

☆全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合を令和7年度調査において、85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

★令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。

★「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準2を満たす教職員の割合を 90%以上にする。

☆令和7年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

★令和4年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。

【R3 86.3%】

★年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【R3 0.70】

★年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

☆令和4年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度より2%上昇させる。

【R3 75.8%】

☆年度末の校内調査の「友だち一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

☆年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え方行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

★令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。

【R3 33.3%】

★令和4年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。

【R3 現4年生 国語0.85 算数0.88 現5年生 国語0.98 算数1.11
現6年生 国語0.96 算数1.08】

★令和4年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。

【R3 64.3%】

★令和4年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を53%以上にする。

【R3 50.0%】

学校の年度目標

☆年度末の校内調査の「体験や見学、鑑賞などを通じて、芸術・スポーツ・文化・伝統などを学ぶことができましたか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

☆令和4年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

★年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を80%にする。

★「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準2を満たす教職員の割合を90%以上にする。

学校の年度目標

☆年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立本田小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <p>★小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。【R3 86.3%】</p> <p>★年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>★年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>☆令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和 3 年度より 2 % 上昇させる。【R3 75.8%】</p> <p>☆年度末の校内調査の「友だち一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 70% 以上にする。</p> <p>☆年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え方行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 70% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1、安全・安心な教育の推進】</p> <p>児童一人ひとりが安全に生活を送るために課題意識をもち、自分にできることを考え行動できる力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">各種避難訓練の事前指導、ふりかえりを各学級で徹底することで児童が課題意識をもち、自分にできることを考え行動できる力を育成する機会をもつ。「廊下階段あるこう週間」等、安全に生活を送るために児童が考え方行動する力を發揮する児童会活動を充実させる。 (計画委員会による「廊下階段あるこう週間」 健康委員会による「注意喚起」など)校内調査「安全に気をつけて生活していることができている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80 % 以上にする。	

取組内容②【2、豊かな心の育成】

命を大切にし、仲間を尊重する心と態度を育てる教育活動を実践する。

指標

- ・感染状況を鑑みながら縦割り班活動を適時行うことで仲間を尊重する心と態度を育てる教育活動実践する機会とする。
- ・校内調査「異学年交流は楽しい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。
- ・人権週間の内容をより充実させることで自己、仲間を尊重する態度を育てる教育活動を実践する機会とする。
- ・人権週間後の校内調査「困っている友だちがいたら助けることができる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立本田小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>★令和 4 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35% 以上にする。</p> <p>【R 3 33.3%】</p> <p>★令和 4 年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。</p> <p>【R 3 現 4 年生 国語 0.85 算数 0.88 現 5 年生 国語 0.98 算数 1.11 現 6 年生 国語 0.96 算数 1.08】</p> <p>★令和 4 年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 66% 以上にする。</p> <p>【R 3 64.3%】</p> <p>★令和 4 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 53% 以上にする。</p> <p>【R 3 50.0%】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>☆年度末の校内調査の「体験や見学、鑑賞などを通じて、芸術・スポーツ・文化・伝統などを学ぶことができましたか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 70% 以上にする。</p> <p>☆令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合を 80% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童が主体的・対話的な学習に取り組めるように、全教員が指導力の向上に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学級で週に 3 回以上、ペア活動やグループ活動、討論、プレゼンテーション、学級会などの話し合う活動に取り組む。 	

・校内の研究授業・研修会を年間30回以上行う。

・体験的な校外活動、地域や専門の人材を招いた学習活動に、学校全体・各学年で1回以上取り組む。

取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】

外国語（英語）の勉強が好きな児童を育てるため英語活動を充実させる。

指標

週に3回以上、本田タイムで英語に触れる時間をとる。

取組内容③【5、健やかな体の育成】

児童が運動（体を動かす遊びを含む）する機会を設定するとともに、区の教育支援事業等を活用して体育の授業力を向上させる。また、健康的な生活を送るため、目標を設定し、取り組める児童を育成する。

指標

・特別活動として、児童が中心となり、わくわくスポーツタイムを企画したり、運動の楽しさを呼びかける放送をしたりする。このような体育的活動を年に3回以上実施することで、児童アンケートの「運動を身近なものに感じますか」に対して「そう思う」「どちらかというとそう思う」と答える児童の割合を80%以上にする。

・学期に1回以上、健康委員会による睡眠に関する啓発活動を行う。

・年に1回以上、睡眠に関する健康教育を行う。

・学期に1回行う健康がんばり週間に、起床・就寝時刻を記入し生活リズムについて振り返る機会を設け、健康がんばりカード質問⑤「自分で決めた時間にねて、おきましたか？」の肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。【R3：質問⑤「早寝早起きをしましたか？」 77. 8%】

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立 (学校園名) 令和 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>★年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%にする。</p> <p>★「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準2を満たす教職員の割合を90%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>☆年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>日常の学習の中で個別最適な学びや協働的な学びの実現に向け、1人1台端末を活用する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の心の状態や日々の生活変化の状況を可視化し、子供の理解を深めるために、心の天気を全学年で毎日実施する。 ・一人ひとりの子どもの可能性を引き出すために、デジタルドリル navima を週1回程度活用する。 ・1人1台端末を文房具の一つとして活用できるようにするために、3～5年生でタイピングの練習を週に1回程度取り組む。 	
<p>取組内容② 【8、生涯学習の支援】</p> <p>児童が本に触れる機会を保障するとともに、児童が読書に興味をもち、読書活動への意欲向上につながる取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日の朝読書を一年間継続して行う。 ・各学年、週に一度の図書の時間を確保する。 	

- ・学校司書や図書ボランティアと連携を図り、低学年に読み聞かせを、週に一度以上行うようとする。
- ・中央図書館との連携を図り、学習単元に関わる図書の貸出依頼を、学期（前期・後期）に一度以上行うようとする。
- ・学校司書と連携し、週に一度面展台に載せる本を変えたり、月に一度図書室内の飾りつけを変更したりして環境を整備し、図書室での満足度を高める。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点